

QUM3000 調整マニュアル



注意

本調整マニュアルはセンサー類の確認・調整で対処可能なトラブルの早期解決を目的とした物です。

本マニュアルに記載されていない症状が現われた場合はご連絡ください。

確認・調整を行う場合は危険を伴う場合がありますので、必ず機械停止時に行ってください。

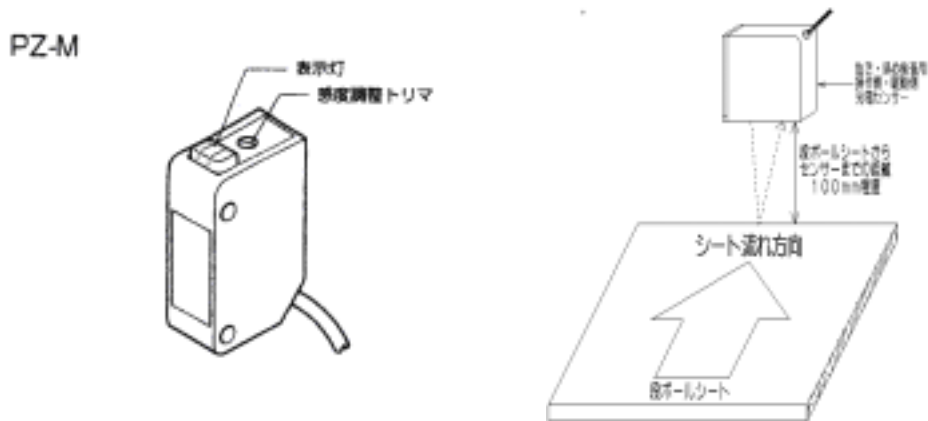


株式会社 ホニック

TEL(0568) - 32 - 7838

FAX(0568) - 32 - 4221

光電センサー調整方法



【 P Z - M 3 1 (キーエンス) 】

センサ設置箇所

スロット部または連結コンベア一部（ロータリーダイカッター手前）各検査用（ P H 1 ， P H 2 ， P H 3 ）

レンズの掃除について

レンズは定期的に柔らかい布で汚れなどが付着しないようにふきとってください。

付着していると誤動作の原因になります。

確認事項

電源を投入して下記のことを調べてください。

検出シートが有無しても表示灯の緑ランプは安定して点灯しているか

検出シートが有る場合は表示灯の緑、赤ランプそれぞれに安定して点灯しているか

調整方法

検出シートを適切な位置に置きボリュームを時計方向に回して、緑、橙ランプが点灯するボリューム位置を“ A ”とします。

次に検出シートがない状態してボリュームを反時計方向に回し、緑ランプのみが点灯するボリューム位置を“ C ”とします。

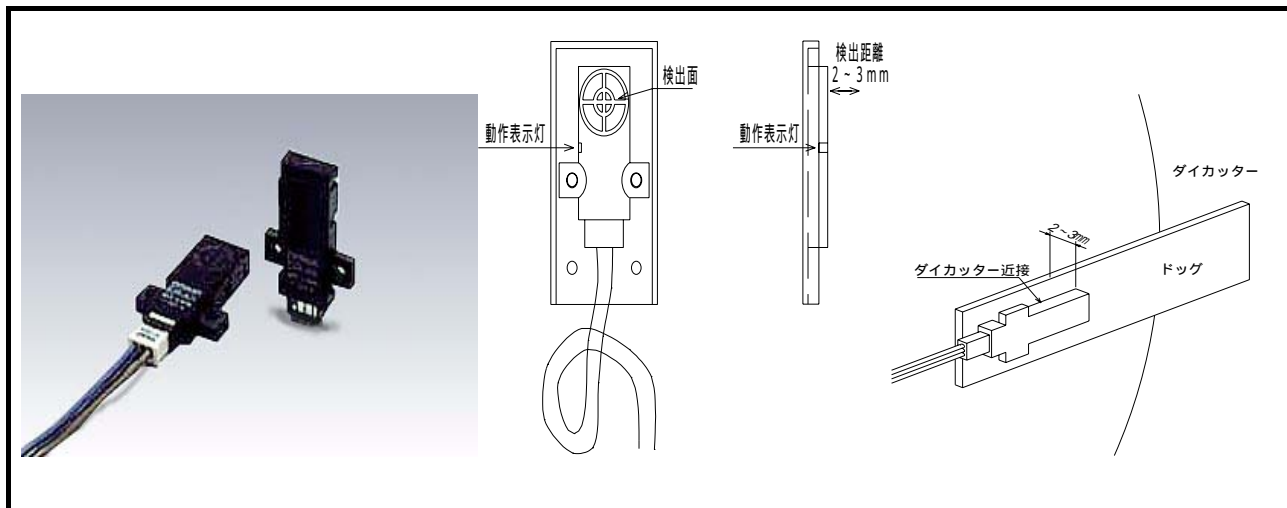
ボリューム位置“ A ”と“ C ”の中間に設定します。

何も検知してないにもかかわらず緑、赤ランプの両方とも点灯している場合は、感度が強すぎますのでボリュームをその位置から左にもどして緑ランプだけ点灯するようにしてください。

シートを検知範囲内に持ってきて赤ランプが点灯しない場合は、感度が弱いのでボリュームをその位置から右に回して緑、赤ランプ両方とも点灯するようにしてください。

両方のランプが消灯している場合は、不安定な状態ですのでボリュームの位置を変えて行ってください。各ランプが安定して点灯するように、調整を行ってください。

原点用近接センサー調整マニュアル



メーカー オムロン (型式: E 2 R)

検出面の掃除について

定期的に検出面を柔らかい布で汚れが付着しないように拭き取ってください。

注1: 埃、抜きカス等が付着していると正常に動作しません。

注2: シンナーやアルコールなどでの拭き取りは絶対に避けてください。

確認事項

電源投入後、下記の確認を行ってください。

コードのコネクタがしっかりとさし込んであるか確認してください。

センサーとドッグの間に抜きカス等が挟まっていないか確認してください。

ドッグがセンサーの検出面を通過時に、動作表示灯の赤が点灯するか確認してください。

ドッグとセンサーの検出面の距離は適切な検出距離 (2 ~ 3 mm) が確認してください。

以上4点を確認し、上記の通りでしたら正常です。1点でも項目と違う場合は下記の調整方法に従い調整を行ってください。

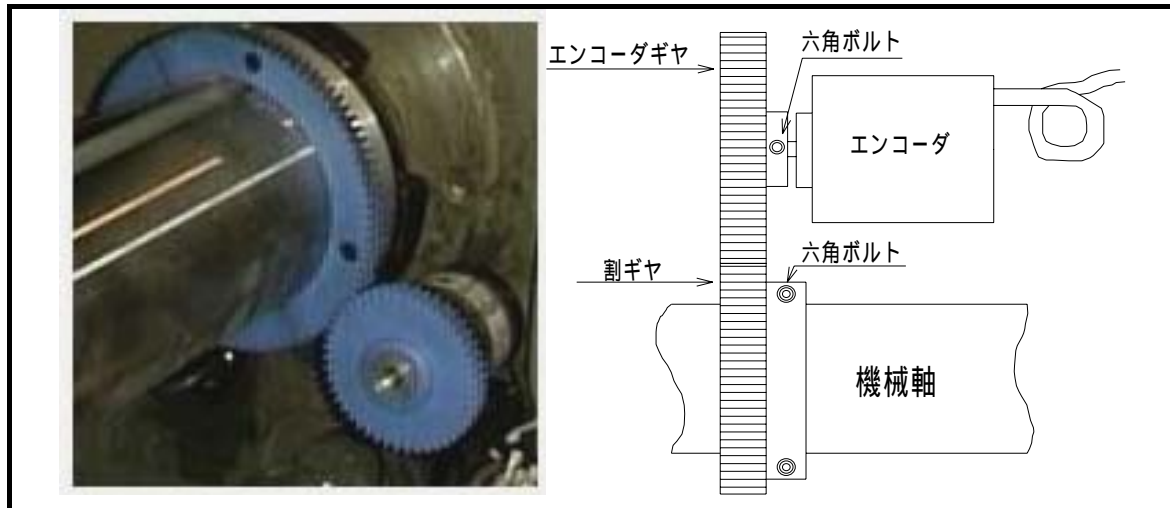
調整方法

ドッグがセンサー検出面を通過時にほぼ平行になるように、センサー検出面をダイカッターの中心方向にあわせてください。

ドッグがセンサー検出面全域を通過するようにしてください。

調整後、確認事項の再確認を行い、正常動作の確認を行ってください。

エンコーダー調整マニュアル



メーカー 光洋 (型式: TRD - J 1 0 0 0 - R Z)

確認事項

エンコーダーギヤの六角ボルトはしっかりと締まっているか確認してください。

同様に割ギヤの六角ボルトはしっかりと締まっているか確認してください。

回っているときにエンコーダーに手を当ててみて、衝撃や振動等が無いか確認してください。

注：エンコーダー内部にガラス製品が使用してあり、衝撃等に非常に弱い構造になっています。

ギヤが蛇行していないか確認してください。

注：エンコーダーギヤと割ギヤの間には若干の遊びが必要です。

以上4点を確認し、上記の通りでしたら正常です。